

# 平成29年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	地理歴史	科目	世界史演習②	学年	3
担当者	北原 淳弥			単位数	2
使用教科書	山川出版社 詳説 世界史B				
使用教材	使用教材:グローバルワイド最新世界史図表 世界史B10分間テスト 世界史用語集 センター形式問題集 各国史 改訂版				
教科・科目の指導目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	第1章オリエントと地中海世界 1.古代オリエント世界 2.ギリシア世界 3.ローマ世界 第2章アジア・アメリカの古代文明 1.インドの古典文明 2.東南アジアの諸文明	東アジア世界の地理的特質を把握させ、オリエント文明の盛衰、イラン人の活動を理解させる。 地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴理解させる。 都市国家から大帝国内に発展したローマ文明の特徴を理解させる。 インド文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、南アジア世界の形成過程を理解させる。 東南アジアの地理的特質を把握させ、東南アジア世界における国家形成の過程を理解させる。	12
6月7月	1学期期末考査	3.中国の古典文明 4.南北アメリカ文明 第3章内陸アジア世界・東アジア世界の形成 1.草原の遊牧民とオアシスの定住民2.北方民族の活動と中国の分裂 3.東アジア文化圏の形成 第II部 第4章 イスラム世界の形成と発展 1.イスラム世界の形成	東アジアの地理的特質を把握させ、中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解させる。 先住民による南北アメリカ文明の形成とその特色、内陸アジアの地理的特質を把握させ、台頭した遊牧民とその国家の動向を理解させる。 東アジアにおける北方遊牧民族の動向と、三国時代から魏晋南北朝という中国の分裂と動乱の時代を理解させる。 隋・唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備やその動向を理解させる。 イスラム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラム帝国の形成を理解させる。	12
7月10月	2学期中間考査	2.イスラム世界の発展 3.インド・東アジア・アフリカのイスラーム化 4.イスラーム文明の発展 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 1.西ヨーロッパ世界の成立 2.東ヨーロッパ世界の成立3.西ヨーロッパ中世世界の変容	トルコ系民族が内陸アジアから進出し、ムスリムの連携を維持しながらイスラーム世界を拡大させていった過程を理解させる。 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化など、イスラーム世界の拡大の過程、イスラーム文明の特質とその影響、学問と文化活動の内容を理解させる 地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパで封建社会が形成されていったことを理解させる。 ビザンツ帝国の繁栄とその社会や文化、スラヴ人と周辺諸民族の自立の過程、十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の變容と諸国の動向を理解させる。	14
10月12月	2学期期末考査	2.東アジア諸地域の自立化 3.モンゴルの大帝国 第7章 アジア諸地域の繁栄 1.東アジア世界の動向 2.清代の中国と隣接諸地域 3.トルコ・イラン世界の展開	契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替、宋の興亡と社会や文化の特色を理解させる。 モンゴル帝国の興亡と、その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響の大きさを理解させる。 中華帝国を再現した明朝の動向とともに、朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解させる。 清朝の形成した広大な領域支配とその社会や文化とともに、東アジア世界の動向を理解させる。 トルコ・イラン世界に誕生したイスラーム帝国の動向とその社会や文化の特質を理解させる。	14
12月3月	学年末考査	4.ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展 戦後世界秩序の形成 米ソの冷戦の激化 西欧・日本の経済復興 第三世界の台頭と米ソの歩み寄り	南アジアに誕生したムガル帝国の動向とインド社会や文化の変化、東南アジア交易の発展を理解させる。 米ソ冷戦の始まり、東西ヨーロッパの分断、中国の成立と南北朝鮮、東南・南・西アジアの独立について理解させる。 朝鮮戦争と軍拡競争の激化、アメリカ合衆国の「豊かな社会」化について理解させる。 西欧・日本の経済復興、ソ連の雪解けと平和共存政策について理解させる。 第三世界の連携、アフリカ諸国の独立と苦悩、ラテンアメリカ諸国とキューバ革命、米ソ両大国の動揺と平和共存への転換について理解させる。	18

評価の観点・方法	ノート提出点・定期考査・授業態度
----------	------------------